



## 鶏の暑熱対策を行いましょう。

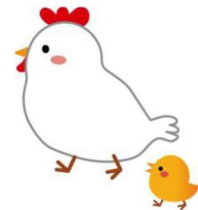
気象庁の3か月予報では、暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いとのことです。真夏の体力低下を少しでも減らすために、効果的な暑熱対策に取り組みましょう。

### 暑熱の影響

- 鶏には汗腺がないため暑熱環境に著しく弱く、採卵鶏では産卵率や卵重の低下、肉用鶏では発育の停滞を招きます。気温 35℃以上では斃死が多発します。

### 鶏舎の環境改善<外からの熱を防ぎ、鶏舎内の温度上昇を防ぎましょう。>

- 屋根や壁に断熱材を設置、白色ペンキや石灰を塗布する。
- 屋根にパイプ、スプリンクラーを付けて、散水する。
- 寒冷紗や緑のカーテンで直射日光を遮断する。
- こまめに除糞を行い、鶏舎内の発酵熱を減らす。
- 周囲の下草を刈り、不要なものを片付けて風通しを良くする。



### 鶏の暑熱対策<鶏の体感温度を下げ、ビタミンを投与し、体力をつけましょう。>

- 送風：扇風機、ダクトの送風で換気を良くする。(特に、一日の暑さがこもる夕刻から夜間の送風は有効。)
- 散水：湿度の低い日は細霧装置で散水する。その後、よく乾燥させる。
- 給餌：早朝や夕方の涼しい時間帯に採食させる。(肉用鶏では昼間の絶食も有効)
- 給水：ニップルドリンカーは一日に数回末端を解放し、水温を低く保つ。
- 飼料添加：不足しがちなビタミン、ミネラルを投与する。

ご不明な点は当所までお問い合わせください



### 新体制スタート

令和6年(2024年)度がスタートしました。今年もよろしくお願いいたします。

| 所長 青木(新)                                                                                                     | 保健衛生課 課長 中山(新)                                             | 防疫課 課長 三木(新)                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 畜産経営の安定を図るとともに、安全・安心な県産畜産物を食卓にお届けするため、家畜伝染病の予防や家畜衛生の推進に取り組みます。また、地域の特色ある畜産物生産を推進するため、衛生対策を中心とした飼養管理の支援を行います。 | 庶務会計、動物薬事、乳質、繁殖、飼養管理など家畜の生産性向上や改良及びその他を担当する家畜保健衛生所の総合窓口です。 | 豚熱、鳥インフルエンザ、口蹄疫などの家畜伝染病をはじめ、感染症・疾病の予防・検査については防疫課へご相談ください。 |